

令和2年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市梓川アカデミア館		所管課 TEL	美術館 0263-34-7900					
所在地	松本市梓川倭566番地12		設置年月	平成3年1月					
施設設置目的	西部地区の文化施設として、優れた芸術作品の公開展示による芸術文化の振興及び地域の文化財(民芸品、民俗資料等)の公開展示により教育文化の振興を図る。								
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造(一部2階建)、延床面積1,618.89㎡ 【1F】ギャラリー2室、ロビー、喫茶室(テナント77㎡)【2F】展示室3室【屋外】芝生広場(1,000㎡)								
指定管理者名(選定方式)	一般財団法人 松本市芸術文化振興財団(特命)								
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日								
指定管理者の 主な業務	(1)観覧及び使用の許可に関する業務 (2)施設及び設備の維持管理に関する業務 (3)歴史、民族及び芸術に係る資料の保管及び展示に関する業務 (4)民族、芸術品等の展覧会及び発表会等の開催に関する業務 (5)前各号に掲げるもののほか、館の運営に関する事務のうち市民または教育委員会のみの特権に関する事務を除く業務								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の 利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)				
	ギャラリー利用率	70%	50.0%	71.4%	87.5%				
	施設利用者数	20,000人	5,876人	29.3%	20.3%				
	(特記事項)								
事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料 雑収入	17,070,000 100,000	指定管理料 雑収入	17,070,000 1,180	公共施設目的外使用料 観覧料 施設使用料 私用光熱水費	373,070 124,500 643,680 539,027	公共施設目的外使用料 観覧料 施設使用料 私用光熱水費	369,700 112,300 872,000 475,149
	計	17,170,000	計	17,071,180	計	1,680,277	計	1,829,149	
	支出 (歳出)	事務費	8,140,000	事務費	8,417,706	指定管理料	17,035,637	指定管理料	16,539,577
		燃料費	810,000	・人件費6,907千円 ・通信運搬費260千円	810,000	梓川賞展負担金	800,000	梓川賞展負担金	800,000
		光熱水費	2,080,000	・消耗品123千円 ・新聞図書68千円	2,080,000	委託費支出	63,569	委託費支出	1,290,300
		賃借料	140,000	・手数料41千円 ・修繕費961千円	140,000	借上料	89,100	手数料支出	251,990
		租税公課支出	810,000	燃料費	473,158	消耗品	43,550		
委託費支出		4,820,000	光熱水費	2,239,111	営繕工事	706,200			
雑支出		10,000	賃借料	102,315	工事請負費	4,188,000			
事業費	340,000	租税公課支出	699,000	用地購入費	38,774,464				
計	17,150,000	委託費支出	4,772,266	計	61,700,520	計	18,881,867		
計	17,150,000	雑支出	0	計	61,700,520	計	18,881,867		
計	17,150,000	事業費	333,261	差引	-60,020,243	差引	-17,052,718		
損益	20,000	計	17,036,817	差引	-60,020,243	差引	-17,052,718		
(特記事項)									

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0) 不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
67.8

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	公平性が確保されており、アンケートからも問題は見られない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	業務従事者の正当な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	A	関係機関への連絡や事故状況など緊急連絡網が作成されており問題ない。また、消防署職員のもと防災訓練を実施している。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	館内監視、事故等の際の緊急処置、救護など、来館者の事故を防止するための対策が講じられている。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	市の個人情報保護条例に準じて施設利用申請書等適切な管理が行われている。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	経理担当者が会計帳簿により管理しており、決定権者が細心の注意を払い情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	A	決算報告書から判断して経営状況に問題はない。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	美術館施設2館、文化芸術施設3館の施設運営をいっているため、迅速な対応が可能でサポート・バックアップ体制がある。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	A	設置目的、管理運営業務を適確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	A	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表で確認したところ、シフト体制と勤務時間ともに問題なく管理運営上適切である。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	指揮系統と責任権限は明確になっている。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	年度当初に必ず研修会を行い業務の効率化や業務従事者の意識改革を進めている。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	服務、会計事務研修や接遇研修を計画的に行っている。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	会計帳簿により適切に利用料金の收受と管理運営の収支がきちんと管理しており問題は見られない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	清掃業務の一部について、第三者との契約に係る勤務表等を確認した結果適切に実施されている。
17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか		3	B	実績報告や事業報告は適切に作成し期限までに提出されており問題はない。	
安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	安全講習が行われており、緊急時の対応はマニュアルの整備がされている。	
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲について適確に把握されており問題はない。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を適確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	事業計画に基づき適切に事業が実施されているが、利用率を上げるような事業を検討してほしい。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	関係団体等との良好な関係を保っている。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	利用者団体、マスコミと連携しながら積極的に取り組んでいる。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	ホスピタリティの向上に努めるとともに適切な施設・設備の維持保全を図り、利用者にとって快適な環境に努めた。
	障害者等への配慮	25 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	接遇研修が行われており、障害者、子ども、高齢者の利用に問題はない。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者だけでなく、地域の皆さんの意見を聞き、アグレッシブに運営してほしい。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	管理実績報告書から日常的なセルフモニタリングが行われていることが確認でき問題はない。
環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	ゴミの分別を徹底しており、節電等の省エネ対策も積極的に取り組んでいる。	
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	自らが施設修繕等を実施することで経費の削減を図っている。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	事業計画どおりの事業を実施しており支出総額に問題はない。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和2年5月26日から令和3年2月28日(5月25日まで臨時休館)
	調査対象	施設利用者
	調査方法	利用者及び利用団体へのアンケート
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和2年度の 自己評価	(1)松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携・協力しながら管理運営を行いました。 (2)施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ち良くご利用いただくために、利用者アンケートの結果等を参考に相手の立場に立った親切な対応を心がけました。 (3)新型コロナウイルスの影響で中止となったワークショップもありましたが、新たに3つのワークショップを企画するなど、年間6つのワークショップを実施し、教育普及事業の充実を図りました。コロナウイルスによる自粛生活が続く中感染症対策を徹底したうえで、絵画講座や絵本作り講座を開催することで、生きがいづくりに繋げました。
要望・苦情への 対応状況	
今後の目標	(1)西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれる、生きがいや潤いのある市民文化の醸成を図られることを目指します。 (2)梓川地域の市民を対象にアンケートを実施し利用者サービスの向上に取り組みます。 (3)元年度、2年度とワークショップを多く開催したことにより存在価値が高まっているので、来館者や施設利用者に快適な鑑賞と発表の場としての環境づくりを提供していくよう努めます。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準	
A	(1.0) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5) アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2) 改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】</p> <p>(1)1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるよう働きかけました。「みんなのアトリエ」は美術愛好家の皆さんの発表の場として定着してきている。</p> <p>(2)地域の解説ボランティア6名が民俗資料説明コンシェルジュとして協力し活動することで交流促進、高齢者の生きがいづくりにつながり評価できる。</p> <p>【総合的な評価】</p> <p>(1)工夫を凝らしたワークショップにより参加者増加していることを高く評価します。</p> <p>(2)広報誌「アカデミア館便り」の月1回の発行とマスコミへの情報発信により、館の活動を積極的に周知できている点も参加者増に繋がっていると思います。</p>

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
74.8

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和2年5月26日～令和3年3月31日(5月25日まで臨時休館)
	調査対象	施設利用者
	調査方法	館内設置アンケート用紙への任意記載
調査結果	<p>1 施設利用の目的について (18利用団体)</p> <p>(1) ギャラリー使用の内容 ア 絵画展 3件 イ 写真展 4件 ウ 音楽発表会 2件 エ コンサート 1件 オ その他 3件</p> <p>2 展示会開催者の回答 (1) 館全体の雰囲気 (良い94%、やや良い6%、やや悪い0%、悪い0%) (2) 設備の使いやすさ (良い100%、やや良い0%、やや悪い0%、悪い0%) (3) 職員の対応について良い100%、やや良い0%、やや悪い0%、悪い0%) (4) 交通アクセスについて (良い76%、やや良い6%、やや悪い11%、悪い6%) (5) 館内の清潔さについて (良い100%、やや良い0%、やや悪い0%、悪い0%) (6) 駐車スペースについて (良い59%、やや良い12%、やや悪い29%、悪い0%)</p> <p>3 今後も当館を利用したいと思いますか 利用したい82%、検討する0%、利用しない0%</p> <p>4 アカデミア館の使用料について 高いと感じる6%、ちょうど良い47%、安いと感じる0%</p>	
利用者からの意見 要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・個展ではよい展示場で、展示方法で美術館より厳しくないから使用したい。 ・新型コロナウイルス感染症対策で、検温や連絡先記入の筆記用具の消毒など大変な状況にも関わらず、職員が快く挨拶し参加者も何のトラブルもなく開催できた。 ・駐車場がもう少し多くあればと思いました。 ・背面にカーテンなどがあると雰囲気が作りやすいかもしれません。 	